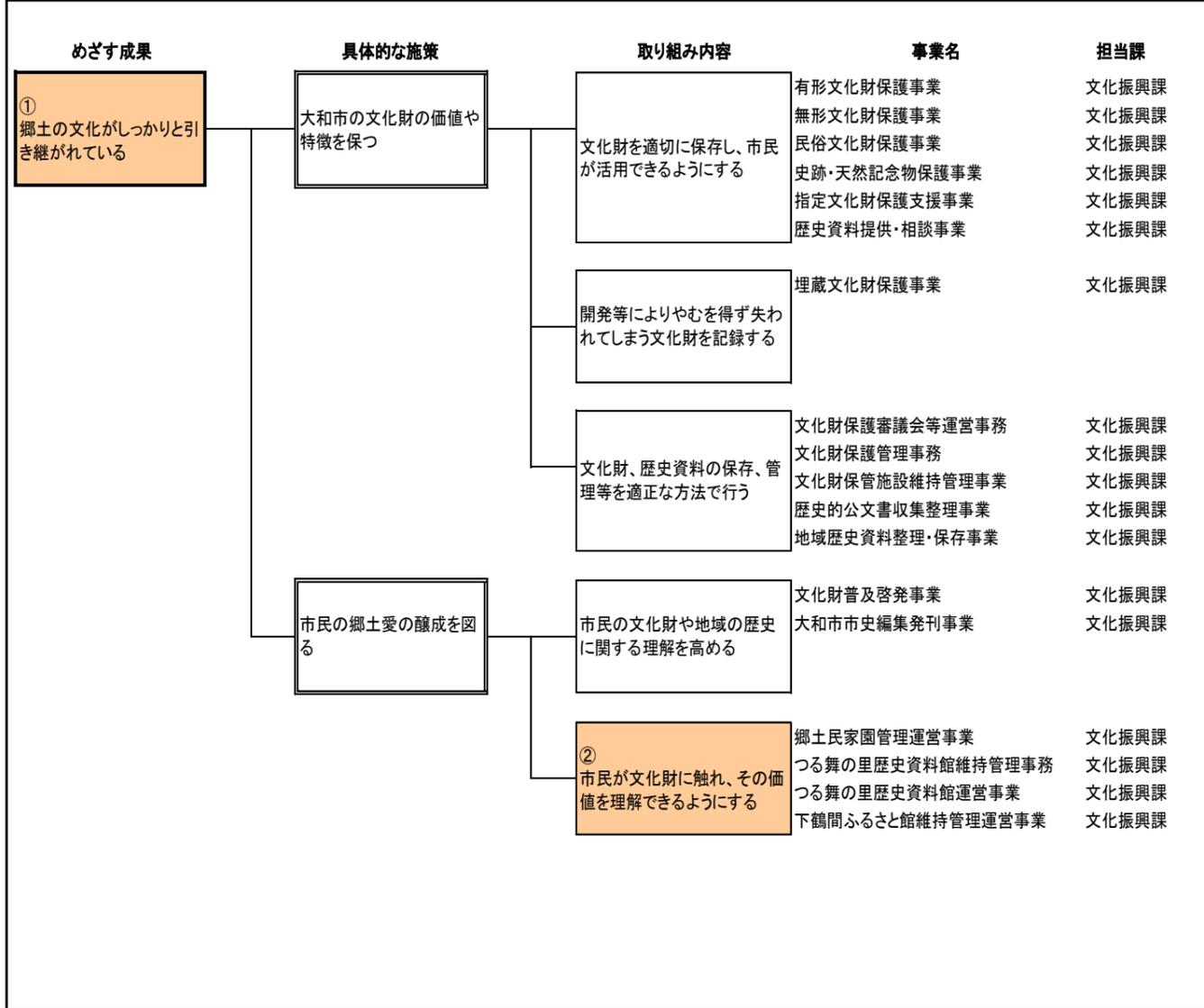


# 平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

## 6-2-2 郷土の文化がしっかりと引き継がれている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	郷土の文化がしっかりと引き継がれている 歴史的価値のある資料が体系的に整理され、それを展示する施設を多くの人が利用しています。

### 「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合		歴史文化施設の利用者数	
計画策定時 現状値	35.8%	計画策定時 現状値	40,999人
実績値 (H24)		実績値 (H24)	48,339人
中間目標値 (H23)	36.5%	中間目標値 (H23)	42,600人
目標値 (H25)	37.0%	目標値 (H25)	43,500人

所管部	文化スポーツ部
-----	---------

平成24年度までの取り組み内容	<p><b>【大和市の文化財の価値や特徴を保つ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有形民俗文化財を保存し将来へ伝えるため整理作業を進め、文化財施設に保管するとともに、消えゆく無形民俗文化財については、将来へ伝えるための資料となるよう映像等による記録保存を行いました。</li> <li>史跡、天然記念物が将来へ引き継がれるよう、保存の措置を講じました。</li> <li>埋蔵文化財が開発行為などにより保存されない状況に置かれた際に、行政指導、調査を行い記録保存されるように努めました。</li> <li>市が作成する文書などから歴史的公文書を抽出し、歴史資料として保存し将来へ伝えられるよう保存の措置を講じ、活用までの道筋を準備するとともに、地域に存在する各種歴史資料についても、将来へ引き継がれるよう保存処置を施し、活用の準備を行いました。</li> </ul> <p><b>【市民の郷土愛の醸成を図る】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市域の特徴的な歴史事象を取り上げ、市民に講座などを開催し歴史情報を伝えるとともに、市域の歴史についての資料研究や、重要な資料について解説を進めました。</li> <li>つる舞の里歴史資料館、ふるさと館を一体で管理運営し、郷土民家園とも連携した企画により見学者が三施設を回遊しながら歴史や民俗を身近に体験できるように進めました。</li> </ul>
-----------------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県指定の天然記念物「シラカシ林」については、確実に保存し、後世に引き継ぐために管理者への保護支援について検討するとともに、将来的には指定地を買収し公有地化することが必要です。</li> <li>さまざまな埋蔵文化財の取扱いに関する協議の中から、埋蔵文化財包蔵地内で実施される工事については埋蔵文化財が保存されるよう行政指導し、試掘調査が必要な案件については試掘を実施するとともに、さらに本格調査が必要なものについては、その実施指導などを行います。</li> <li>毎年収集する歴史的公文書を資料整理し、保存の措置を講じます。</li> <li>地域の個人宅で保管されている資料を順次借用し、目録作成や保存処置等を講じ、個人で管理できるようにしたうえで返却します。</li> </ul>
-------------------------	---

今後の展開方針		注) 例年おりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>大和市にゆかりのある人物を洗い出し、資料収集、調査・研究します。将来的には、調査報告書の刊行、展示会の開催を検討します。</li> <li>無形民俗文化財の保存継承のために、日ごろの練習の成果発表及び普及啓発の場として、民俗芸能大会などを検討していきます。</li> </ul>	(該当する事務事業) 文化財普及啓発事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)